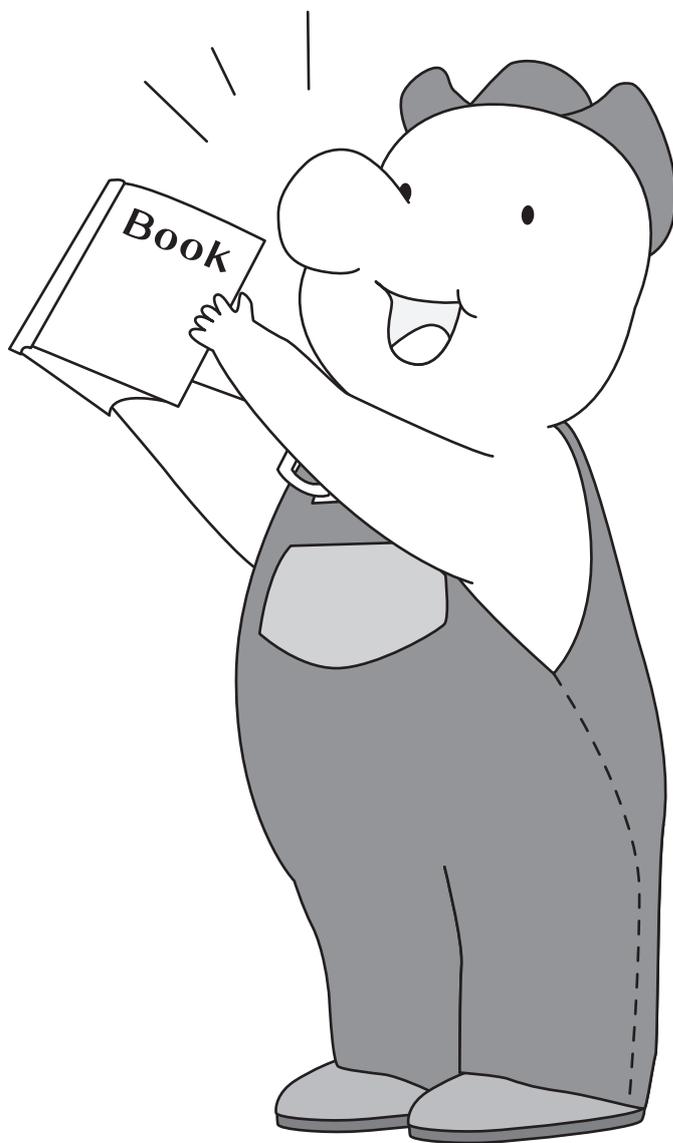


じょうずにできるかな



モマン 5-1

なまえ _____

たしざんをしましょう。

$$\underset{\circ}{1} + \underset{\circ\circ}{2} = 3$$

$$\underset{\circ\circ}{2} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ}{3} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ\circ}{4} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

$$\underset{\circ\circ\circ\circ\circ}{5} + \underset{\circ\circ}{2} =$$

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

モマン 5-2

なまえ

たしざんをしましょう

$$\begin{array}{c} 5 \\ \text{ooooo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

7

$$\begin{array}{c} 6 \\ \text{ooooo} \\ \text{o} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 7 \\ \text{ooooo} \\ \text{oo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 8 \\ \text{ooooo} \\ \text{ooo} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 9 \\ \text{ooooo} \\ \text{ooo} \\ \text{o} \end{array} + \begin{array}{c} 2 \\ \text{oo} \end{array} =$$

2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

モマン 5-3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かべ^かにみみ^みあり

しょうじ^しにめ^めあり



かほう^かは

ね^ねてま^まて



き^きはいつとき^{いつ}はじ^はの恥^ぢ

き^きかぬはいっしょう^{いっしょう}
の恥^は



き^きいてごくらく^{ごく}

み^みてじごく^じ



きゆう^きすれば

つう^つず



モマン 5-4

なまえ

せん
線
でむすびましょう。

き
聞いて
ごくらく
極楽

ね
寝て
ま
待て



かべ
壁に
みみ
耳あり

き
聞かぬは
いっしょう
一生
はじ
の恥



きゆう
窮すれば

み
見て
じごく
地獄



き
聞くは
いっとき
はじ
一時の恥

つう
通ず



か
ほう
果報は

しょうじ
障子に
め
目あり



モマン 5-5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かべ^かにみみ^{みみ}あり
しょうじ^しにめ^めあり

き^き聞こえているよ



か^かほう^{ほう}は
ね^ねま^まて^て待^まて

あせらないで待^まていよう



き^きく^くはいつ^{いつ}とき^{とき}の^のはじ^{はじ}恥^ぢ
き^きか^かぬ^ぬはいつ^{いつ}しょう^{しょう}の^のはじ^{はじ}恥^ぢ

し^し知らない^らない^いことはき^きこ^こう^うね



き^き聞^きいて^いて^てごく^{ごく}らく^{らく}
み^み見^みて^てじ^じごく^{ごく}地^ぢ獄^{ごく}

き^き聞^きいていた^いた^たの^のどち^{どち}が^がう^うよ



き^きゆう^{ゆう}窮^{きゆう}すれば
つ^つう^う通^{つう}ず

う〜ん、あつわ^あわ^わか^かつ^つた!



モマン 5-6

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かべ^かにみみ^{みみ}あり
しょうじ^しにめ^めあり

かほう^かは
ね^ねま^まて^て待^待て

き^きはいつとき^{いつ}のはじ^{はじ}恥^恥
き^きかぬはいつしょう^{いつ}のはじ^{はじ}恥^恥

き^きいてごくらく^{ごく}
み^みてじごく^じ地獄^{地獄}

きゆう^きすれば
つう^つ通^通ず

こううん^こはあせらず^あきなが^きま^まに待^待とう



どこでだれがき^きいているか、
み^みているかわからない。



き^きくのとじっさい^じとはおお^おきな
ちが^ちいがある。



いきづまると、かえってよい^よ
あん^あ案^案がみつかる。



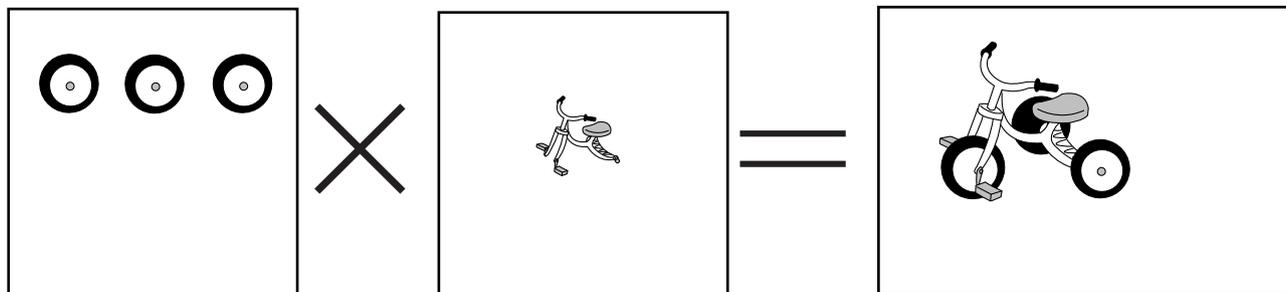
し^しらないままですごく^{ごく}と、いつしょう^{いつ}
し^しらずにはずかしい^おおも^もいをする。



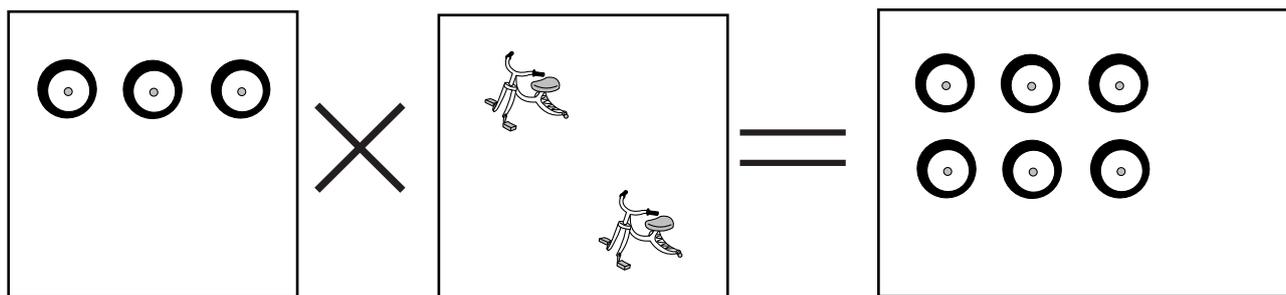
モマン 5-7

なまえ

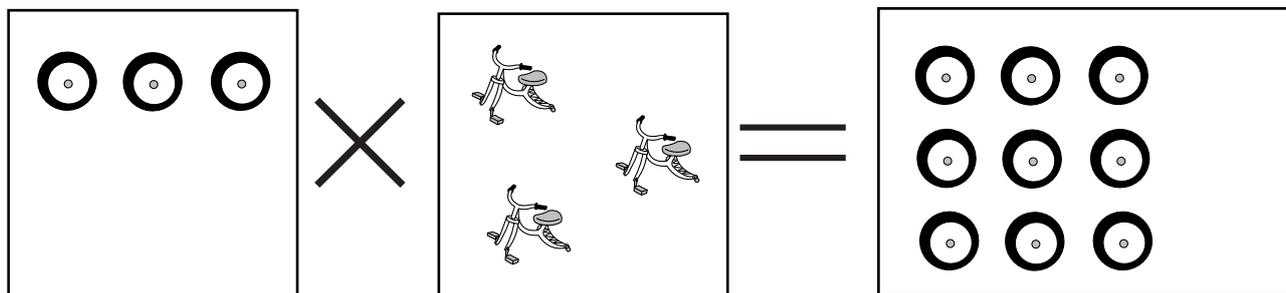
すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。



$$3 \times 1 = 3$$



$$3 \times 2 = 6$$



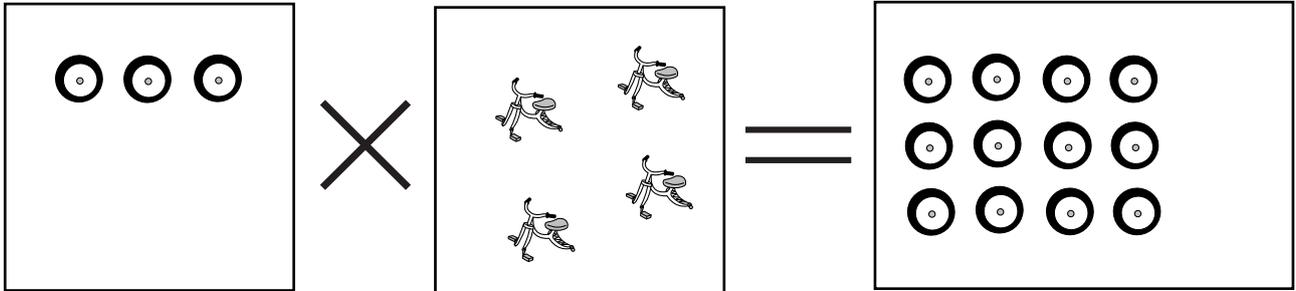
$$3 \times 3 = 9$$

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

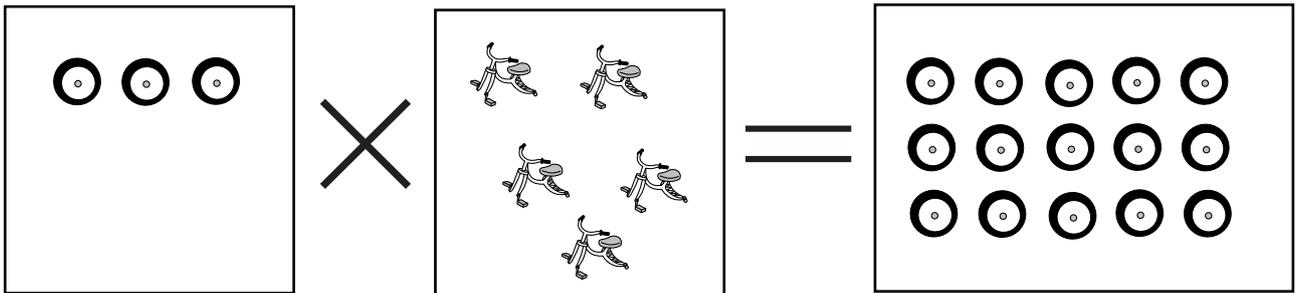
モマン 5 - 8

なまえ

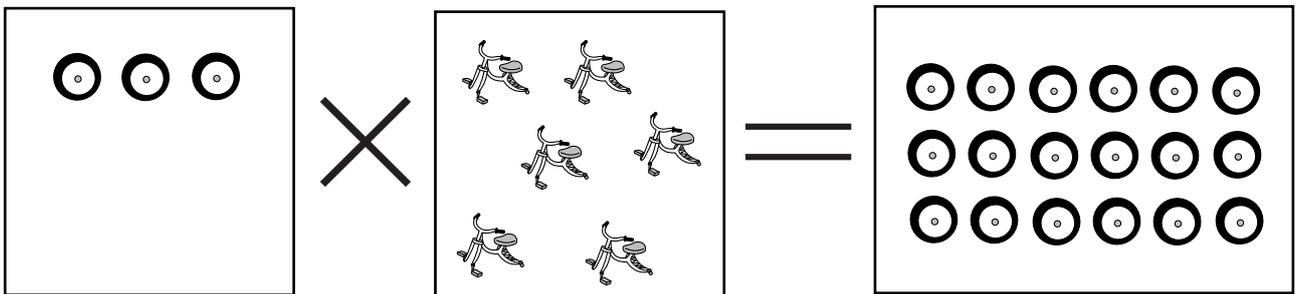
すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。



$$3 \times 4 = 12$$



$$3 \times 5 = 15$$



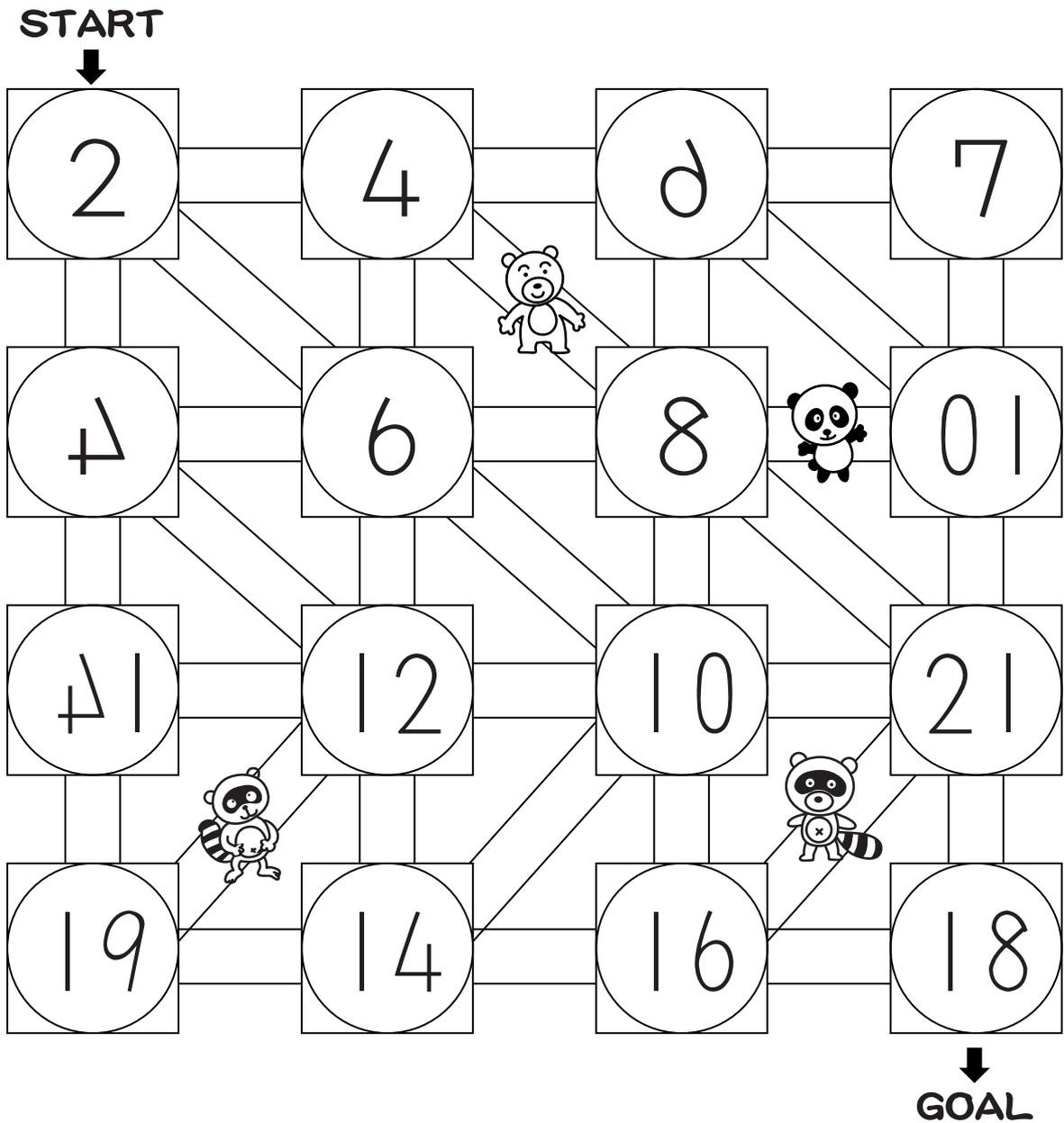
$$3 \times 6 = 18$$

9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

モマン 5 - 10

なまえ

ただしい数字^{すうじ}をむすんで、2とびで GOAL までいきましょう。



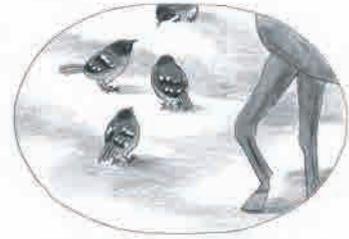
モマン 5-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

すずめ ^こ
雀の子

そこのけそこのけ
^{おんま}御馬が^{とお}通る



やまじ
山路きて

^{なに}何やらゆかし
すみれ^{ぐさ}草



はる みず
春の水

ところどころに
^み見ゆるかな



モマン 5 - 12

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

はる みず
春の水

なに
何やらゆかし
すみれ草^{ぐさ}



すずめ
雀の子

ところどころに
見ゆるかな



やまじ
山路きて

そこのけそこのけ
御馬^{おんま}が通^{とお}る



□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

す
ず
め
の
こ

そ
こ
の
け
そ
こ
の
け

お
ん
ま
が
と
お
る

こ
ば
やし
い
つ
さ
小
林
一
茶

モマン 5 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

や

ま

じき

て

な

に

や

ら

ゆ

か

し

す

み

れ

ぐ

さ

まつお 松尾芭蕉
ばしろう

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

は

る
の
み
ず

と
こ
ろ

ど

こ

ろ

に

み

ゆ

る
か

な

上島鬼貫
うえしまおにつら

モマン 5 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



す	ず	め	は	の	り	を	た	べ	て
ず	め	の	こ	そ	ば	お	い	ま	し
め	の	こ	ね	こ	あ	さ	ん	に	し
の	く	そ	る	の	え	だ	に	を	た
こ	い	こ	い	て	つ	ま	と	ち	よ
が	で	の	け	そ	こ	い	み	ち	き
と	ん	よ	る	こ	は	な	き	と	ん
と	が	は	し	の	あ	ぶ	ら	れ	ま
お	ま	ん	お	け	お	ん	ど	で	し
る	け	の	こ	そ	う	ろ	ど	お	た



おわり

- 1 ^い入り口は一つだけ、^{ぐち}^{ひと}出口がないものなあに？

くつつした

- 2 ^い入り口一つに、^{ぐち}^{ひと}出口が二つあるものなあに？

ズボン

- 3 ^い入り^{ぐち}ロー^{ひと}つ。^で出口^{ぐち}も^{ひと}一つのものなあに？

スカート

- 4 ^い入り^{ぐち}口^{ひと}は一つ。でも、^{さき}先^いへ^い行くと^ご五^{ほん}本のわか^{みち}れ道になるものなあに？

てぶくろ

モマン 5 - 19

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっ き
一 喜



おん こ
温 故



ごん ご
言 語



モマン 5-20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

いっ き いち ゆう
一喜一憂

うれしいこともあり
心配^{しんぱい}することもある。



おん こ ち しん
温故知新

むかしの本^{ほん}から新しい^{あたら}
方法^{ほうほう}の発見^{はっけん}だ。



ごん ご どう だん
言語道断

とんでもない!



モマン 5-21

なまえ

せん
線でむすびましょう。

いっ き いち ゆう
一喜一憂

とんでもないこと。



おん こ ち しん
温故知新

よろこ 喜んで、しんばい 心配したり
すること。

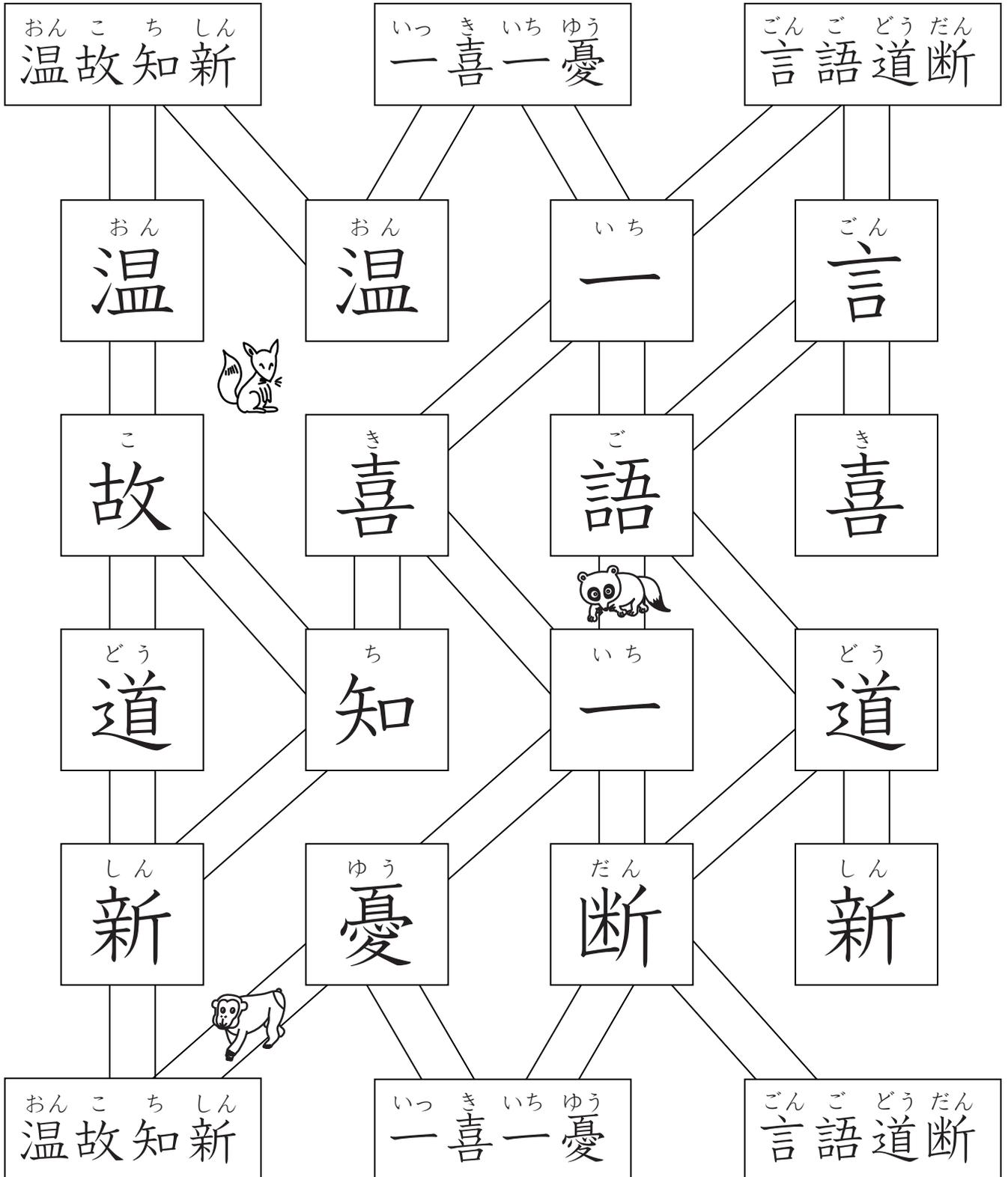


ごん ご どう だん
言語道断

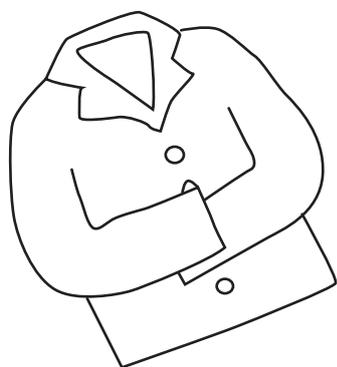
ふる 古いものからあたらしい ち
しき 知識を発見すること。



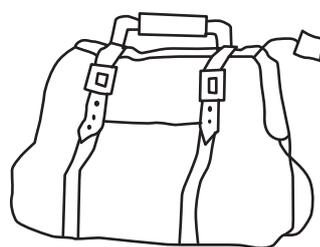
線せんでむすびましょう。



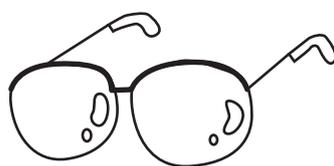
おじいさんの仕事は^{しごと}何屋^{なにや}さんですか？
○をつけましょう。



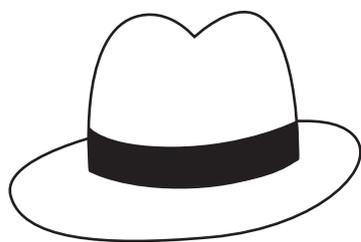
ふく



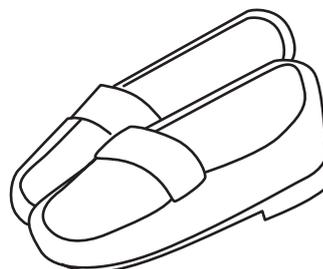
かばん



めがね

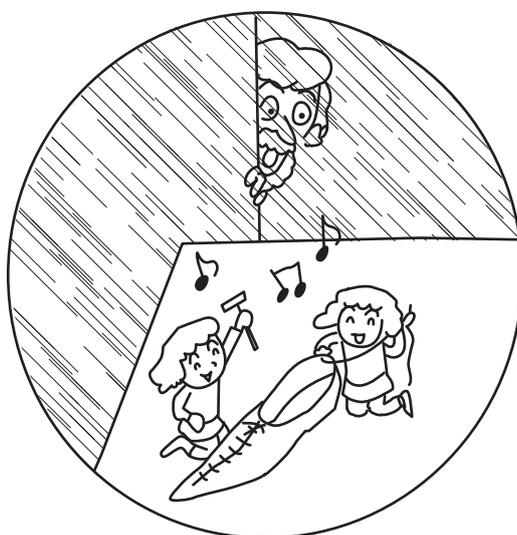


ぼうし



くつ

き 切っておいた皮は、次かわの日つぎにはどうなっひて
いましたか？



- 1 皮が洋服かわになっようふくていた。
- 2 くつが一足いっそくできていた。
- 3 たくさんのくつができていた。

モマン 5 - 25

なまえ

せん
線でむすびましょう。

はら
わたの原
や そしま こ い
八十島かけて漕ぎ出でぬと



ひと つ
人には告げよ
あま つりぶね
海人の釣舟



よ
夜もすがら
ものおも う あ
物思ふころは明けやらで



ねや え
闇のひまさへ
つれなかりけり



はる す
春過ぎて
なつ き しろ たえ
夏来にけらし白妙の



ころも ちよう
衣ほすてふ
あま か くやま
天の香具山



いお
わが庵は
みやこ す
都のたつみしかぞ住む



よ じやま
世をうぢ山と
ひと う
人はいふなり



モマン 5 - 26

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

はるす
春過ぎて
なつき しろたえ
夏来にけらし 白妙の



ねや え
閨のひまさへ
つれなかりけり

はら
わたの原
やししま こい
八十島かけて 漕ぎ出でぬと



よ じやま
世をうち山と
ひと う
人はいふなり

いお
わが庵は
みやこ す
都のたつみ しかぞ住む



ころも ちよう
衣ほすてふ
あま かぐやま
天の香具山



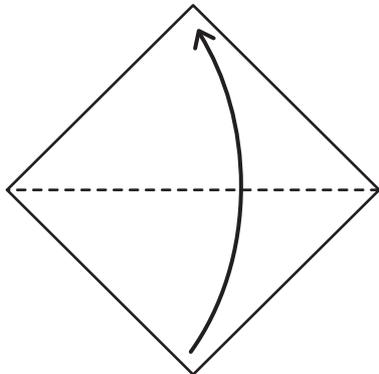
よ
夜もすがら
ものおも う あ
物思ふころは 明けやらで



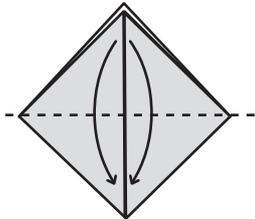
ひと つ
人には告げよ
あま つりぶね
海人の釣舟



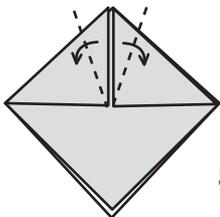
《かぶと》



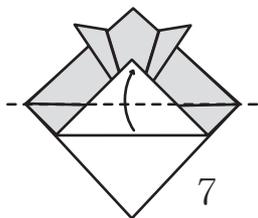
1 さんかくに おる



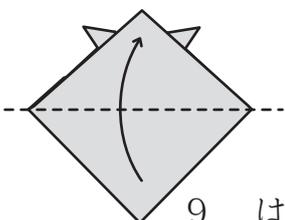
3 2で おった ぶぶんを
したがわに たにおりして
おりかえす



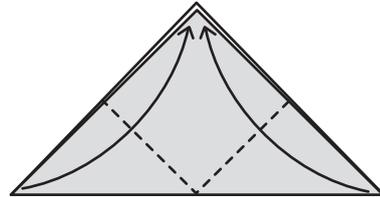
5 たにおりする



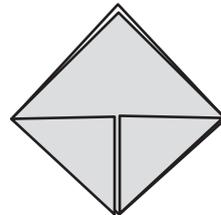
7 さらに たにおりする



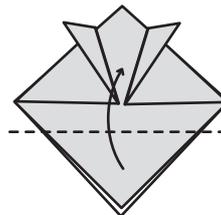
9 はんぶん に たにおりする



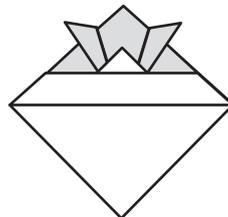
2 りょうはしを うえの
さんかくに あわせるよう
におる



4 さかさまに おきかえる



6 たにおりする



8 うらがえす



10 うらがえしたら かぶとの
かんせい

